



## 学生相談室について

学生相談室では、みなさんが抱える学校生活での悩み事、不安事などについて、相談室員(教職員)、看護師、学校医(精神科医)、スクールカウンセラー(SC:臨床心理士)やスクールソーシャルワーカー(SSW:精神健康福祉士)が相談に応じ、問題解決に向けて一緒に考え、一緒に取り組んでいきます。

「何となくやる気が出ない」、「落ち込んで何もしたくない」、「学校で自分の居場所がない」、「授業についていけない」、「進路(進級)について不安だ」、「ハラスメントを受けている」、「友人(異性)関係で困っている」など誰かに話を聞いて欲しいと思うことがあれば、学生相談室を利用ください。どんな小さなことでも構いません。相談内容は相談者本人の了解なしに他の人に漏れたりすることは絶対にありませんので安心ください。

### 【相談窓口(連絡先)】

学生相談室 E-mail: sodan.kochi@kochi-ct.ac.jp  
 学生相談室長専用電話 090-4330-4061 E-mail: sodan.kochi2012@docomo.ne.jp  
 高知高専保健室 088-864-5537

### ～ 令和3年度 学生相談室 当番表(後学期) ～

	月	火	水	木	金
昼休み	市木 12:10～13:00	光畑SC 12:00～17:00	光畑SC 11:30～16:30 (第1,3,5水曜日) 市木 12:10～13:00 (第2,4水曜日)	市村 12:10～13:00	光畑SC 11:00～16:00 洲脇SSW 12:00～18:00
放課後	近藤SC 15:00～17:00	上田SC 17:30～19:30	西本SC 15:30～17:30 (第2,4水曜日)	洲脇SSW 14:00～18:00 ピアサポーター 15:30～18:00	渋谷Dr 15:30～17:30 (第3金曜日)

## 「外国語を学ぶ」

松浦 真衣子 相談室員



今年の3月から、オンライン英会話のレッスンを受けています。(まだ「英語がペラペラ」の段階ではないですが)。レッスンを通じて、やはり外国の人と外国語で意見交換するというのは楽しいものだと感じています。そこで、移動が制限されてるコロナ禍で外国語を学ぶメリットとは何かを自分なりに考えてみました。

### 1. 外国の文化を知る。

私は英語の他に、現代ギリシャ語、フランス語も学んでいます。それぞれの国のテキストの中にはその国の文化が詰まっています。

例えばフランス語だと、フランス人同士の会話で「A「映画にいかない?」、B「映画の後のカフェがなければ行っても良い」という文があります。フランスでは映画の後に「カフェ」に行って、映画の内容について討論することが多いようです。私もフランス映画を何本か鑑賞したことがありますが、どう考えていいかわからない難しい映画が多いという印象を持っています。人々の議論を喚起する映画がフランスでは良しとされているようです。

また、現代ギリシャ語のテキストでは「自分の家を誉めそやさない、屋根が落ちてくる」という文が出てきます。これは、「自分の家族に文句を言っていると、家族から悪い影響をうける」という意味の諺です。私はギリシャ人と長く接してきて、自分の両親や子供の悪口を言っている人をほぼ見たことがありません。「私の子はなんて素晴らしい!」と子供を誉める人ばかりです。小学校で教員をしている友人は「子供達がわがままになって困る、、」と嘆いていましたが、家族の名誉を重んじる現代ギリシャ人の文化の一部なのでしょう。

このように、私たちの住んでいる地域社会の外に、全く違う世界が無限に広がっていて、私たちとは違う価値観の中で多くの人々が生きているということがわかります。

### 2. 日本を知る

外国語を学習するうえで、異文化だけでなく日本の現状にも向き合う場面があります。英会話で、フィリピンの先生とお話した時のこと。先生が日本の最低賃金について質問されたので「高知県は7～8ドル、東京は9～10ドルくらいかな?」と答えました。それに対し先生は「それは1時間当たりなの?だとしたら、あなたはお金持ちですね。私の地域では1日で6ドルが最低賃金だから」と答えました。

色々な国の人と会話をすると、今の日本でも外国から見るとかなりお金持ちの国なんだということがわかります。それなのに、2021年「国際幸福デー」に公表された、世界幸福度ランキングでは日本は56位です(フィリピンは61位でした)。日本は経済規模の割に、幸福度が低い、それはどうしてなのかじっくり考える機会をもらいました。

### 3. 集中する時間を作る

慣れない外国語で会話をすると、どっと疲れるものです。会話中とはとにかく集中して、レッスンが終わると、その日あった嫌なことを忘れてしまっています。皆さんが好きなゲームに集中しているときは、嫌なことを忘れてしまうのと同じだと思います。さらに(実際に、会話力が上がっているかどうかはさておき)なんとか会話をしたという達成感もあります。

一日のうちに、何かに集中する時間を定期的につけておくことは、メンタルヘルス的にも良いかと思います。

ステイホーム期間が長くなったここ数年ですが、外国語学習を始めてみるのはいかがでしょうか?

## 「オリジナリティを楽しもう」

吉岡 将孝 相談室員



うちでは当番が決まっているわけではないが、朝5時に起きている流れで朝ごはんは私が作っています。学生の時、ロボットコンテストの時期が近い時は大学にホットプレートとカセットコンロを持ち込んで仲間たちと一緒に料理をしていたため、レシピを見れば一通りのことは出来るようになりました。私にとって「料理」と「モノ作り」はよく似ています。まず冷蔵庫の材料を見て、食べたいものやレシピを考え、材料を切ったり焼いたり煮たりすることで料理が完成します。モノ作りでも、作りたいものと考え、材料を加工することでロボットが完成します。毎日同じものを作るのも寂しいので、平凡な豆腐とわかめの味噌汁の中に兄からニンニクチューブを入れるとおいしくなるとネットに書いてあったと聞いて試してみたり、CMでスクランブルエッグの中にマヨネーズ入っていたので試してみたりなど、日々味の探求に務めています。しかし、ニンニクチューブを入れた味噌汁は好みではなく、兄とネットからの情報は鵜呑みにしてはいけないと思ったりもします。そうやって、変化やオリジナリティを楽しめるところも「料理」と「モノ作り」が似ているところになります。

オリジナリティの楽しさを知ったのは、大学生の時でした。学園祭の出し物でおもちゃのプログラミングロボットを改造し、UFOキャッチャーを作ることになりました。当時ロボット製作の知識はほとんどなく、そのようなものは作ったことがなかったため、仲間たちと何回もゲームセンターに通って、UFOキャッチャーの動きを観察しました。試行錯誤して出来たUFOキャッチャーは90×120×90cmの大きさとなり、接合部は接着剤だらけで、5回に1回はワイヤーの調整をしなければ壊れてしまうものとなりましたが、なんとか学園祭に間に合い展示することが出来ました。難易度調整なんて上等なもの出来なかったのも、アームの力で大体のものは掴める仕様になっていました。2回50円で鉛玉やお菓子をキャッチするようにしたところ、大学生たちには簡単すぎて不評でしたが、遊びに来た子供たちはUFOキャッチャーが簡単に取れるということで、何回もチャレンジする子出てきて10人ぐらいの行列ができ、お菓子いらないからUFOキャッチャーやらせろという子たちも出てきました。その結果、粗末な作りのUFOキャッチャーは学園祭2日目には壊れて動かなくなってしまいましたが、満足な仕事をしてくれました。始めは単に金儲けのために作ったUFOキャッチャーでしたが、自分たちでアイデアを出し、設計し、作ったものがこうして子供たちが無邪気に遊んでくれることがとてもうれしく、幸福感を得ることが出来ました。オリジナルなものを作る満足感はこちらにあると私は感じます。

日々の生活に「何か物足りないなあ」と思った時は、料理をしたり、アクセサリ作った、ロボット作ったり、プログラムを作ったり、オリジナリティを楽しんでみるのはいかがでしょうか。自分だけのもの、自分たちだけのものを作る機会が多くあり、SNSの発展によりそれを披露する場も多くなってきました。また、これから高専祭や総合文化祭でモノを作ることチャンスが出てきますので、積極的にチャレンジしてみてください。